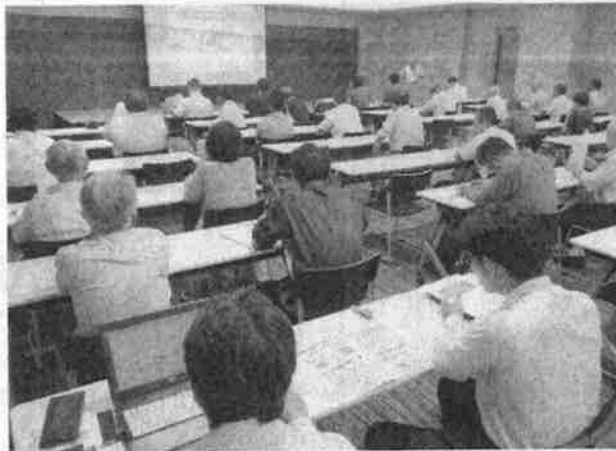


トレーラ火災など 事故防止へ研修会 兵ト協

兵庫県トラック協会(福永征秀会長)は8月29日、県トラック総合会館で「トレーラの安全等に係る研修会」を開き、約50人が参加した。

主催者を代表してあいさつした兵ト協業務部の藤城秀夫部長は



兵ト協のトレーラ研修会

「トレーラの火災事故や横転事故が最近起きているので、それを防ぐ対策が求められている。また、効率輸送の観点からより車両の大型化が進みつつある」と述べ、トレーラの安全確保について改めて要請した。

研修会では日本自動車工業会サービス委員会の秋吉正則氏(矢野特殊自動車)と同業務委員会の川口尚史氏(日本フルハーフ)がDVDの映像を利用しながら、火災防止のための日常点検や定期点検整備の重要性、輸送効率向上、ABSや横転抑制装置など安全装置の有効性について説明した。

秋吉氏は「トレーラの火災事故の85%はブレーキが原因。スプリングブレーキチャンバのエア漏れが半数を占めている」「運行前点検では耳を澄まして、シューというエア漏れがないか確認してほしい」などと述べ、日常点検の重要性を強調した。